
Aziun Socks FTP

Ver1.0

導入マニュアル

目次

1. アプリケーションの内容について	2
2. インストール手順	3
3. 環境設定	6
4. 起動アプリケーションの実行	8
4.1. FTPの実行	8
5. Azia'n Socks FTPの実行	10
5.1. 他のアプリケーションから起動する場合	10
5.2. 引数の定義一覧	10
5.3. エラーコード一覧	11
5.4. BAT ファイルで起動する場合	11

1. アプリケーションの内容について

Aziun Socks FTP はソケットインターフェース(TCP/IP)を利用して ACOS と PC 間のファイル転送を行います。

Aziun Socks FTP を利用することにより、ホスト Azia'n のデータ管理機能を生かしたファイル転送を PC 側で ETOS を起動することなく、行うことができます。

また、ETOS で処理するよりも高速なファイル転送、受信が行うことができます。

2. インストール手順

インストール媒体の Azsocks.EXE を起動します。

1). 起動すると以下のような画面が表示されますので、そのまま次へボタンを選択します。



2). 次のインストール先の指定画面が表示されたら、アイコン部分をダブルクリックします。



指定されたディレクトリでよければ次へボタンを押します。

3). 次の画面が表示されたら、そのまま次へボタンを選択してください。



4). 次の画面が表示されたら、そのまま次へボタンを選択してください。



- 5). 次の画面が表示されている間は、ファイルをコピーしております。
そのままお待ちください。



- 6). インストールが正常に終了した場合は以下のような画面が表示されます。
これで、インストール作業が完了です。



- 8). インストールが正しく終了すると、以下のようなメニューが作成されます。



3. 環境設定

Aziun Socks FTP 環境設定を起動すると、以下のような画面が表示されます。



以下のように入力してください。

- 1). FTPポート ... FTPのポートを入力します。(必須項目)
通常は 21 を設定してください。
- 2). 作業 DIR ... 作業ディレクトリ名を指定します。%TEMPなどを指定。
- 3). タイマー ... ACOS との通信、FTP 接続などが出来なかった場合の再処理する時間間隔を秒単位で入力します。1 秒～60 秒まで設定可能です。
- 4). データ変換後の一時ファイル処置
... コード変換を行った際のファイルの処置を設定します。
- 5). データファイルのデータに小文字が含まれている場合の変換方法
... データファイルに小文字が含まれている場合の大文字へ変換するかの設定をします。

ホスト情報を選択すると、次の画面が表示されます。

設定完了後、実行ボタンを押せば設定完了です。

ホスト情報定義

処理区分

追加 更新 削除

ホストID:

IPアドレス:

ポートNo:

端末ID:

この画面では、ホストごとの IP アドレス、ポート、端末 ID を設定します。

< 追加の場合 >

- 1). ホスト ID を入力します。(最大 8 バイトまで入力できます。) 入力必須項目です。
- 2). ホストの IP アドレスを入力します。 入力必須項目です。
- 3). ソケットのポート を入力します。 ホスト側のポート と同じ数値を入力してください。
入力必須項目です。
- 4). 端末 ID を入力します。
端末 ID を入力した場合は、FTP 実行時に必ずユーザ名とアカウント、パスワードの入力が必要になります。
端末 ID を入力しない場合は、設定された IP アドレスで ACOS から自動的に割り当てられます。

4. 起動アプリケーションの実行

Aziun Socks FTP 起動アプリケーションを起動すると、以下のような画面が表示されます。本アプリケーションを利用して、ファイルの送受信を簡単な操作で行うことができます。

4.1. F T Pの実行

以下のように入力してください。下線の項目は入力必須項目となります。

- 1). 送受信区分... 送信、受信のどちらかを選択します。
- 2). ファイル ID / ファイル明細 CD ... ファイル ID、ファイル明細 CD のどちらかを選択し入力します。
- 3). ホスト ID ... 環境設定で登録されたホスト ID を選択します。
選択後、IP アドレス、ポート、端末 ID が表示されます。

ホストID:	<input type="text" value="ACOS2"/>	<input type="text" value="157.119.169.4"/>	<input type="text" value="15700"/>	<input type="text" value="TANAKA"/>
--------	------------------------------------	--------------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------

- 4). 宛先加入者 CD ... Azia'n に登録されている宛先加入者 CD を入力。
- 5). 発生源加入者 ID ... Azia'n に登録されている発生源加入者 ID を入力。

- 6). ドライブ名 ... FTP 送受信時のデータファイルが存在するドライブ名
- 7). データセット名 ... FTP 送受信時のデータファイル名

なお、変更ボタンを選択すると、データファイルの選択画面が表示されます。
ネットワーク上のファイルを指定する場合は、ドライブを割り当ててから指定してください。



- 8). ファイル名称 ... ファイル名称を入力します。
- 9). コメント ... コメントを入力。
- 10). 出力モード ... FTP 送信時のデータファイルの出力モード。
 - 「出力(O)」の場合は、既に存在するファイルに対して出力モードでデータを書き込みます。ファイル未存在時はエラーとなります。
 - 「追加(A)」の場合は、既に存在するファイルに対して追加モードでデータを書き込みます。ファイル未存在時はエラーとなります。
 - 「作成(C)」の場合は、ファイルが存在すれば出力モードで、ファイルが存在しない場合は作成して出力モードで書き込みます。
 - 「追加/出力(E)」の場合は、ファイルが存在すれば追加モードで、ファイルが存在しなければ作成後、追加モードで書き込みます。
 - 「未存在時出力(N)」の場合は、ファイルが既に存在しない場合のみ作成後、出力モードで書き込みます。(ファイルが既に存在する場合はエラー)

なお、送信時は「出力(O)」と「追加(A)」のみが選択できます。
- 11). ファイル送信後措置 ... FTPファイル受信時の処理後モード。
 - 「何もしない」場合は、ACOS 側でファイル送信後、ファイルは削除しません。
 - 「削除する」場合は、ACOS 側でファイル送信後、ファイルを削除します。
- 12). オプション ... オプションを入力。バイナリーデータ送受信時は BIN を設定

5. Azia'n Socks FTPの実行

ユーザが作成したアプリケーションに Azia'n Socks FTP を組み込むことで ACOS とのファイル転送処理を行うことができます。

5.1. 他のアプリケーションから起動する場合

起動させる開発言語などによっては、呼び出し方もさまざまですが基本的な構成は以下のようになります。

EXE 名：インストール先+AZPCFTP.EXE 引数

例)

D:¥Aziun¥AzSocks¥AZPCFTP.EXE ACOS4,S,TESTF1,AKSCD=TEST,HKSCD=TEST,
DV=D:,DSNM=¥Aziun¥Data¥Test.Dat,FLNMN=テスト,PMD=O,UPD=N

引数の部分は以下のようになっています。

ホスト ID,送受信区分,ファイル ID,宛先加入者 CD,発生源加入者 ID,ドライブ名,データセット名,ファイル名称,出力モード,ファイル送信後措置

詳しくは下の表を参考にしてください。

5.2. 引数の定義一覧

	項目	引数	制限	内容
1	ホストID	1番目	必須項目	
2	送受信区分	2番目	"	S:送信 R:受信 SM:明細 CD RM:明細 CD
3	ファイルID	3番目	"	
4	宛先加入者 CD	AKSCD	省略可能	
5	発生源加入者 CD	HKSCD	"	
6	ドライブ名	DV	"	
7	データセット名	DSNM	"	
8	ファイル名称	FLNMN	省略可能	
9	コメント	COMN	"	
10	出力モード	PMD	"	A:追加モード O:出力モード
11	ファイル送信後措置	UPD	"	N:何もしない Y:削除する
12	処理実行端末ID	RTRMID	"	
13	メッセージ表示区分	MSGKB	"	Y:終了時表示(既定値) N:表示しない
14	経過メッセージ表示区分	MET	"	Y:表示(既定値) N:表示しない
17	リトライ指定	RTY	"	指定回数 CXXXX 指定時間 TXXXX
18	ユーザ名	USER	"	
19	アカウント	ACT	"	
20	パスワード	PSWD	"	
21	オプション	OPT	"	BIN:バイナリデータ送受信時 その他

5.3. エラーコード一覧

ステータスは以下の表のようになります。なお、ACOS 側での詳細情報の取得はできません。

エラー	エラー内容
0	正常終了
1	環境ファイル関係のエラー
2	コマンド関係のエラー
3	ソケット関係のエラー
4	FTP 関係のエラー
5	変換関係のエラー

5.4. BAT ファイルで起動する場合

バッチファイルで Azia'n Socks FTP を起動する場合は以下のように記述して使用します。

なお、異常終了した場合はステータスは 0 以外、正常終了時には 0 となります。

例) 以下のようにバッチファイルを作成します

-----<<ここから>>-----

```
echo off
```

```
call c:¥Azian¥AzSocks¥AZPCFTP.exe ACOS4,S,TESTF1,AKSCD=KAIHATSU,DV= ~
```

```
if %ERRORLEVEL% == 0 goto NEXTAP
```

```
echo 異常終了
```

```
goto EXIT
```

```
:NEXTAP
```

```
    echo 正常終了
```

```
:EXIT
```

-----<<ここまで>>-----

バッチ等で実行する場合には、必ず、MET=N、MSGKB=N を指定してください。

また、引数を AZF ファイルの情報を利用することも可能です。

```
call c:¥Azian¥AZPCFTP.exe c:¥Azian¥Acos.azf
```

AZF ファイルをバッチファイルの引数として利用することも可能です。

バッチファイル名を ftpstart.bat として内容は以下のようにします。

```
call c:¥Azian¥AZPCFTP.exe %1
```

起動する場合は

```
ftpstart.bat c:¥Azian¥Acos.azf
```